

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州蝶鮫養殖・振興プロジェクト
事業主体 (連絡先)	豊丘村 (豊丘村役場産業建設課 ☎35-9056)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,597,200 円 (うち支援金: 771,000 円)

事業内容

【観賞用蝶鮫水槽の配置】

蝶鮫成魚を観賞用として配置することで、蝶鮫の実物を知ってもらうとともに、道の駅「南信州とよおかマルシェ」への誘客を図るために大型水槽を設置した。

【移動型養魚水槽の整備】

将来の蝶鮫特産品開発の原料、並びに蝶鮫周知を図るためのイベント用の蝶鮫を育てるために、移動型養魚水槽を設置した。



【 移動型養魚水槽 】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①プロジェクトにより日常管理を行い、蝶鮫養殖のためのノウハウを習得できており、適正な水温や酸素量等のデータも蓄積されたことから、新たに養殖を希望する者への提供が可能になっている。
- ②蝶鮫祭りを開催し蝶鮫の周知を見込んだが、コロナ感染症の蔓延防止を危惧し、中止とした。
- ③蝶鮫のあらゆる部位を活用した美味しい食し方の研究がなされ、1匹丸ごと余すことなく活用できるめどがついた。
- ④コロナの影響で設置が遅れたが、期限内に導入が出来た。今後、蝶鮫養殖及び鑑賞を始めることで、道の駅の新たなPR効果も期待でき、蝶鮫の周知とともに通年の誘客が図られる。

- ①蝶鮫の養殖
- ②蝶鮫の周知・PR
- ③蝶鮫料理の研究
- ④大型水槽、移動型養魚水槽の設置

※自己評価【 B 】

【理由】

コロナの影響により、予定した事業が出来なかったが、4月以降の養殖・鑑賞により、大きなPR効果が期待される事業であった。

今後の取り組み

①蝶鮫養殖

プロジェクト養魚部会が中心となって日常の管理を行い、新たな稚魚の導入、雄雌判別方法の習得、雌の養魚〜キャビアの採取技術習得を図り、この一連の技術を管内で興味を示す方を含め継承し、南信州の特産品に育てる。

②特産品開発

蝶鮫のスモークや急速冷凍商品等、南信州のお土産としても開発研究がなされ、来るリニア時代に向けての準備をします。また、旅館や割烹にも引き続き提案する中、蝶鮫料理の提供施設を30店舗以上に増やします。並行して、キャビアの加工技術を確立し、南信州キャビアのブランド化に取り組む。

③PR活動

数年間は、毎年蝶鮫祭りを蝶鮫大使「成美さん」の協力をいただき開催してまいります。また、道の駅で開催することにより、道の駅だより等全国に向けて発信します。

